

イエスの奇跡から学べること

「イエスは各地を回って、善いことを行い、……人を全て癒やしました」。[使徒 10:38](#)

13番の歌 キリストは私たちの手本

何を学ぶか*イエスは大嵐を静め、病気を治し、死者を復活させました。イエスの奇跡について読むとわくわくします。でも、こうした記録が聖書に残されているのは、私たちがただ読んで楽しむためではなく、大切なことを学ぶためです。イエスの奇跡について調べると、エホバとイエスについてもっとたくさんのが分かり、信仰が強まります。どんな性質を身に付けたらよいかも学べます。

1. イエスの最初の奇跡はどんなものでしたか。

西暦 29 年の秋、イエスが伝道を始めて間もなくのことです。イエスと母親のマリアと弟子たちは、カナでの結婚の披露宴に招待されています。カナは、イエスの郷里であるナザレの北にあります。マリアは新郎新婦の家族の友達で、招待客をもてなしていました。披露宴が進む中、困ったことが起きます。ぶどう酒が足りなくなってしまったのです。*ある聖書学者はこう説明します。「東洋では、客をもてなすことは神聖な務めだった。食事や飲み物をちょうど必要な分だけ用意するのでは不十分だった。特に結婚の披露宴では、あふれるほど多くの物で手厚くもてなす必要があった」。思ったよりも出席者が多かったのかもしれません。このままでは、新郎新婦も家族もとても恥ずかしい思いをすることになります。マリアは急いでイエスの所に行き、「ぶどう酒がありません」と言います。（ヨハ 2:1-3）ぶどう酒が足りなくなった時、イエスは母親から、「ぶどう酒がありません」と言われた）イエスはどうしたでしょうか。水を「上等のぶどう酒」に変えるという奇跡を行いました。（ヨハ 2:9, 10）宴会の幹事はぶどう酒に変えられた水を味見ましたが、その出どころを知らなかった。（水をくんできた給仕たちは知っていた。）それで花婿を呼んで、10 こう言った。「普通は最初に上等のぶどう酒を出し、みんなが酔った頃に劣ったのを出しますが、あなたは上等のぶどう酒を今まで取っておいたのですね」）

2-3. (ア) イエスはどんな奇跡を行いましたか。 (イ) イエスの奇跡について調べるとよいのはどうしてですか。

2 (ア) イエスはその後も、宣教期間中にたくさんの奇跡を行って、何万人の人たちを助けました。*福音書にはイエスの奇跡が 30 以上記録されています。それ以外にも、幾つもの奇跡が 1 つの出来事としてまとめられている箇所もあります。例えば、「町中の人がやって来た時に、「イエスはさまざまな病気の人を大勢治しました。（マル 1:32-34） 例えば、ある時には 5000 人の男性に、別の時には 4000 人の男性に食事を与えました。そこには女性や子供たちもいたので、全員合わせると 2 万 7000 人以上の人に食事を与えたのかもしれません。（マタ 14:15-21; 15:32-38） しかも、どちらの時にも病気の人を大勢癒しました。（マタ 14:14） イエスは岸に下り、大勢の人を見た時、かわいそうに思い、病気の人たちを治しました；15:30, 31 すると、大勢の人が、手足が不自由な人、目が見えない人、口が利けない人など、多くの人を連れてきて、イエスの足元に置いた。イエスはその人たちを治した。31 群衆は、口が利けなかった人が言葉を発し、手が不自由だった人が治り、足が不自由だった人が歩き、目が見えなかった人が見えるようになったのを見て、とても驚き、イスラエルの神をたたえた） 奇跡によってイエスに助けてもらった人々は感激したことでしょう。

3 (イ) イエスの奇跡について調べると、信仰が強まります。この記事では、①イエスの奇跡から学べる大切なことを幾つか取り上げます。また、②イエスが奇跡を行った時に示した謙遜さや思いやりにどのように倣えるかも考えます。

エホバとイエスについて学べること

4. イエスの奇跡について調べると、どんなことを学べますか。

4 イエスの奇跡について調べると、イエスだけでなくエホバについても知ることができます。イエスに奇跡を行う力を与えたのはエホバです。使徒10章38節にはこうあります。「神は聖なる力によってイエスを選び(d*に油を注ぎ)、力を与えました。イエスは各地を回つて、善いことを行い、悪魔に虐待されている人を全て癒やしました。神が共にいたからです」。イエスの奇跡から、エホバの考え方や気持ちも知ることができます。イエスはエホバに完全に見習っていたからです。（ヨハ14:9）イエスは言った。「こんなに長い間一緒に過ごしてきたのに、フィリポ、あなたはまだ私を知らないですか。私を見た人は、父をも見たのです。どうして、『父を見せてください』と言うのですか）では、イエスの奇跡から学べる点を3つ考えてみましょう。

5. イエスはどんな気持ちから奇跡を行いましたか。（マタイ20:30-34）

5 イエスとエホバは私たちを深く愛している。イエスは地上にいた時、苦しんでいる人たちを奇跡によって助け、心からの愛を示しました。ある時、目が見えない2人の人がイエスに助けを求めました。（マタイ20:30-34）すると、道路の脇に座っていた目が見えない2人の人が、イエスがそばを通っていることを聞き、「主よ、憐れみをお掛けください、ダビデの子よ！」と叫んだ。31ところが人々は、黙っているようにと言って、叱った。けれども2人はますます大声で叫び、「主よ、憐れみをお掛けください、ダビデの子よ！」と言った。32それでイエスは立ち止まり、2人を呼び、「何をしてほしいのですか」と言った。332人は、「主よ、目が見えるようにしてください」と言った。34イエスはかわいそうに思い、2人の目に触れた。すると、2人はすぐに目が見えるようになり、イエスの後に従つたを読む。）イエスは「かわいそうに思い」、目が見えるようにしてあげました。ここで「かわいそうに思[う]」と訳されているギリシャ語は、心の奥深くから湧き上がってくる強い気持ちを表しています。このような深い思いやりと愛の気持ちから、イエスはおなかを空かせた人たちに食べ物を与え、重い皮膚病の人を癒やしました。（マタ15:32）イエスは弟子たちを呼んで、言った。「群衆がかわいそうです。私と共に3日いて、食べる物がないです。空腹のまま(*食べ物を持たせずに/何も食べないまま)去らせたくありません。途中で倒れてしまうかもしれません」。マル1:41イエスはかわいそうに思い、手を伸ばして男性に触り、「そう望みます。良くなりなさい」と言った（）ですから、イエスも「温かい思いやり」の神エホバも、私たちを深く愛していて、私たちが苦しむのを見る時つらく感じているに違いありません。（ルカ1:78それは神の温かい思いやりによる。この思いやりによって、神は私たちを夜明けのように照らし。ペテー5:7そして、心配事(*不安/悩み)を全て神に委ねましょう。神は優しく気遣ってくださるからです）そして、苦しみの原因全てをなくしたいと思っています。

6. エホバはイエスにどんな力を与えていますか。

6 エホバは人類の問題全てを解決する力をイエスに与えている。イエスの奇跡から、イエスには私たちがどうにもできない問題を解決する力がある、ということが分かります。例えば、私たちがぶつかる問題の根本原因である罪も、病気や死もなくす力があります。（マタ9:1-6）イエスは舟に

乗って対岸に渡り、自分の町に来た。2すると、人々が、体がまひした男性を担架で運んできた。イエスは彼らの信仰を見て、まひした男性に言った。「安心してください。あなたの罪は許されています」。3律法学者のある人たちは心の中で、「この男は冒瀆している」と言った。4イエスはその考えが分かり、こう言った。「なぜ邪悪なことを心の中で考えているのですか。5例えば、『あなたの罪は許されている』と言うのと、『起き上がって歩きなさい』と言うのとでは、どちらが簡単ですか。6しかし、人の子が罪を許す権威を地上で持っていることをあなた方が知るために—」。それから、まひした男性に言った。「起き上がって担架を持ち、家に帰りなさい」。[ロマ 5:12](#) このような訳で、1人の人によって人類に罪(*)が入り、罪によって死が入り、こうして、全ての人が罪人になったために、死が全ての人に広がったように—。[18, 19](#)こうして、1つの過ちによってあらゆる人が有罪宣告を受けたように、1つの正しい行いによってあらゆる人が正しいと認められ、命を得られるようになりました。191人の人の不従順によって多くの人が罪人になったように、1人の人の従順によって多くの人が正しい人になるのです)イエスは奇跡によって「あらゆる」病気を治し、亡くなった人を復活させました。(マタ 4:23)イエスはガリラヤ中を巡り、会堂で教え、王国の良い知らせを伝え、民のあらゆる病気や不調を治した。[ヨハ 11:43, 44](#)イエスはそう言い終えると、大声で叫んだ。「ラザロ、出てきなさい!」44すると、死んでいたラザロが、手足に布を巻かれたまま出てきた。顔にも布が巻かれていた。イエスは言った。「ほどいて、歩けるようにしてあげなさい」)暴風を静めたり邪悪な天使を追い出したりすることもあります。(マル 4:37-39ところが、激しい暴風が起き、舟は何度も波を浴びて、水没しになった。38しかしイエスは、船尾で枕を使って眠っていた。それで弟子たちはイエスを起こし、「先生、私たちが死んでしまいそうなのに何とも思わないですか」と言った。39イエスは起き上がって、風を叱りつけ、湖に「静まれ! 静かになれ!」と言った。すると風はやみ、湖面はすっかり穏やかになった。[ルカ 8:2](#)邪悪な天使から解放され病気を癒やされた女性たちもいた。邪悪な天使7人を追い出してもらった、マグダレネと呼ばれるマリア)イエスがエホバからこうした力を与えられていることを考えると、本当に安心できるのではないでしょうか。

7-8. (ア) イエスの奇跡からどんなことを確信できますか。 (イ) あなたは新しい世界でどんなことが実現するのを楽しみにしていますか。

7 イエスが将来神の王国の王として素晴らしいことを行うと確信できる。イエスが地上で行った奇跡から、(ア) 将来王国の王として地球規模でどんなことを行うかが分かります。例えば、あらゆる病気や障害がなくなり、私たちは完全に健康になります。(イザ 33:24)「私は病気だ」と言う住民はいなくなる。その土地に住む人々は過ちを許される。[35:5, 6](#)その時、目が見えない人は見えるようになり、耳が聞こえない人は聞こえるようになる。6その時、足が不自由な人は鹿のように跳びはね、口が利けない人(d*人の舌)は歓声を上げる。荒野に水が湧き出て、砂漠平原に川が流れる。[啓 21:3, 4](#)その時、王座から大きな声がした。「見なさい! 神の天幕が人々と共にあり、神は人々と共に住み、人々は神の民となります。神が人々と共にいるようになります。4神は人々の目から全ての涙を拭い去ります。もはや死はなくなり、悲しみも嘆きも苦痛もなくなります。以前のものは過ぎ去ったのです」) 飢えに苦しむことも自然災害に遭うこともなくなります。 (イザ 25:6)大軍を率いるエホバはこの山で全ての人々のために、豪華な料理の宴を、上等の(*おりの上に寝かせられた)ぶどう酒の宴を催す。骨髄をふんだんに使った豪華な料理の宴、こされた上等のぶどう酒の宴である。[マル 4:41](#)しかし弟子たちは大変な畏れを感じ、「一体どういう方なのだろう。風や湖さえ従うのだ」と互いに言った)「記念の墓」から出てくる家族や友達と再会する喜びも味わえます。(ヨハ 5:28, 29)このことに驚いてはなりません。記念の墓の中にいる人が皆、彼の声を聞いて出てくる時が来るのです。29良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出てきます) (イ) あなたは新しい世界でどんなことが実現するのを楽しみにしていますか。

8 イエスは奇跡を行った時、謙遜さや思いやりを示しました。私たちもぜひ見習いたい性質です。では、2つの例を考えてみましょう。1つ目は、カナでの結婚の披露宴で行われた奇跡です。

謙遜について学べること

9. イエスがカナでの結婚の披露宴で奇跡を行ったのはどうしてですか。 (ヨハネ 2:6-10)

9 ヨハネ 2:6-10 そこには、ユダヤ人の清めのしきたり通りに石の水がめが6つ置いてあり、各容量は五、六十リットルだった。7 イエスが給仕たちに、「かめいっぱいに水を入れなさい」と言うと、彼らは縁までいっぱいに入れた。8 イエスは言った。「さあ、少しくんで、宴会の幹事の所に持っていきなさい」。彼らは持っていました。9 宴会の幹事はぶどう酒に変えられた水を味見したが、その出どころを知らなかった。(水をくんできた給仕たちは知っていた。) それで花婿を呼んで、10 こう言った。「普通は最初に上等のぶどう酒を出し、みんなが酔った頃に劣ったのを出しますが、あなたは上等のぶどう酒を今まで取っておいたのですね」を読む。披露宴でぶどう酒がなくなってしまった時、イエスは奇跡を行う義務があったわけではありません。メシアが奇跡によってぶどう酒を作るという預言はなかったからです。でも、考えてみてください。もし自分の披露宴で飲み物がなくなってしまったら、どんな気持ちになるでしょうか。イエスは、新郎新婦や家族が恥ずかしい思いをするのはかわいそうだと思ったのでしょうか。それで、**390リットルもの水を最高級のぶどう酒に変える**という奇跡を行いました。それほどたくさんのぶどう酒があれば、残った分を後で飲んだり、売ってお金に換えることもできたでしょう。新郎新婦は本当にほっとし、感謝したに違いありません。



イエスに倣い、自分がしたことを自慢しないようにしましょう。（10-11節を参照。）

*写真や挿絵: 新郎新婦と招待客が上等のぶどう酒を楽しんでいる。イエスは後ろの方でその様子を見ている。

10. ヨハネ 2章の記述のどんな点に注目できますか。（挿絵も参照。）

10 ヨハネ 2章の記述の細かい部分を見ていきましょう。イエスは、自分でかめいっぱいに水を注いで人々の注目を集めようとしたのでしょうか。いいえ。給仕たちにそうするよう命じました。（6, 7節）そこには、ユダヤ人の清めのしきたり通りに石の水がめが6つ置いてあり、各容量は五、六十リットルだった。7 イエスが給仕たちに、「かめいっぱいに水を入れなさい」と言うと、彼らは縁までいっぱいに入れた（水をぶどう酒に変えた後も、それを自分で宴会の幹事の所に持っていくのではなく、給仕たちに持つていかせました。）（8節）イエスは言った。「さあ、少しくんで、宴会の幹事の所に持っていきなさい」。彼らは持っていました（イエスは招待客の前でぶどう酒の入った器を高々と掲げ、「さあ、私がたった今作つたぶどう酒を召し上がってください！」と言ったりはしませんでした。）

11. イエスが水をぶどう酒に変えた奇跡から、どんなことを学べますか。

11 この奇跡から、謙遜の大切さが学べます。イエスは、水をぶどう酒に変えたことを自慢したりしませんでした。実際、イエスは自分がしたこと自慢することなど一度もありませんでした。いつもエホバが称賛されるようにしていました。（ヨハ 5:19 それでイエスはユダヤ人たちにこう言った。「はっきり言っておきますが、子は自分からは何一つ行えず、父がしていることを見て行えるにすぎません。何でも父がすることを子も同じように行います。」30 私は自分からは何一つ行えません。聞く通りに裁きます。私の裁きは正しいものです。自分の意志ではなく、私を遣わした方の意志に沿って行うからです。8:28 それでイエスは言つた。「あなた方は、人の子を杭に掛けた後に、私がその者で、何事も自分の考えで行っていたのではないことを知ります。私は、父が教えてくださった通りに、これらのこと話をしています）私たちもイエスに倣って謙遜であるなら、自分のしたことを自慢したりはしないでしょう。エホバへの奉仕でどんなことを成し遂げるとしても、自分を高めるのではなく、素晴らしい神であるエホバのことを誇るようにしましょう。（エレ 9:23, 24 エホバはこう言う。「賢い人は知恵を誇ってはならない。強い人は力を誇ってはならない。裕福な人は富を誇ってはならない」。24 「誇る人は、私について理解(*洞察)し知っていることを誇りなさい。私はエホバであり、揺るぎない愛と公正と正義を地上で示す。それらのことを私は喜ぶのである」と、エホバは宣言する）いつもエホバが称賛されるようにしたいと思います。エホバの助けがなければ、私たちは何一つ成し遂げることができないからです。（コリー 1:26-31 兄弟たち、招かれた皆さん自身を見れば分かります。人から見て賢い人、力のある人、高貴な生まれ(*立派な家柄)の人は多くありません。27 神は、世の中の愚かなものを選んで、賢い人が恥をかくようにし、世の中の弱いものを選んで、強いものが恥をかくようにしました。28 神はまた、世の中の取るに足りないものや見下されているもの、つまり価値がないと見なされているものを選んで、価値があると見なされているものが無価値になるようにしました。29 誰も神の前で誇ることがないようにするためです。30 神によって、皆さんはキリスト・イエスと結ばれています。そしてキリストは私たちに神の知恵を明らかにし、私たちが正しいと認められ、神聖なものとされ、贖い(*)によって解放されました。31 ですから、書かれている通り、「誇る人はエホバ(*)について誇るべきです」）

12. イエスの謙遜にどのように倣えますか。

12 イエスの謙遜に倣う方法はほかにもあります。次のような場面を考えてみましょう。若い援助奉仕者の兄弟が初めて公開講演することになり、ある長老が時間を取って助けてあげます。おかげで、若い兄弟は良い話をすることができ、会衆の兄弟姉妹も励みを得ました。集会後、ある人が長老の所にやって来て、「誰々兄弟の話、すごく良かったですね」と言います。この長老は、「そうですね。実は私が準備を手伝ってあげたんですよ」と言うでしょうか。それとも謙遜に、「そうですね。本当にいい話でしたね」と言うでしょうか。謙遜であれば、自分がほかの人のためにしたことを得意げに話したりはしないはずです。エホバが私たちのしたことを見て高く評価してくれていることを喜べます。（マタイ 6:2-4 それで、憐れみの施しをするとき、偽善者たちが人から称賛を受けようとして会堂や街路でするように、施す前にラッパを吹いてはなりません。はっきり言いますが、その人たちは報いを全部得てしまっています。3 慐れみの施しをするときには、右手がしていることを左手に知らせではありません。4 慐れみの施しをひそかにするためです。そうすれば、ひそかに見ている父が報いてくださいますと比較。ヘブ 13:16 さらに、善を行うことや、持っている物を分け合うことを忘れてはなりません。神はそのような犠牲をとても喜んでくださいます）イエスのように謙遜であるなら、エホバに喜んでいただくことができます。（ペテー 5:6 神の力強い手の下で謙遜になってください。そうすれば、神はやがて皆さんを重んじて(d*高く上げて)くださいます）

思いやりについて学べること

13. イエスはナインの町の近くでどんな光景を目にしましたか。そして、どんなことをしましたか。 ([ルカ 7:11-15](#))

13 [ルカ 7:11-15](#) この後すぐ、イエスはナインという町に移動した。弟子や他の大勢の人が同行していた。12町の門に近づくと、死人が運び出されてくるところだった。それはある母親の一人息子で、しかも母親はやもめだった。町のかなり多くの人も一緒にいた。13 主イエスはその母親を見ると、かわいそうに思い、「泣くことはありません」と言った。14 そして、遺体を載せた台(*担架)に近づいて触った。担いでいた人たちちは立ち止まった。イエスは言った。「若者よ、さあ、起き上がり(*目を覚まし)なさい!」15 すると死人は体を起こして話し始め、イエスは息子を母親に渡したを読む。イエスの宣教期間の中ごろのことです。イエスはガリラヤのナインという町に行きました。そこは、900年ほど前にエリシャがある女性の息子を復活させたシェネムという町の近くにあります。 ([王二 4:32-37](#) エリシャが家に着くと、死んだ子供はエリシャのベッドに横たわっていた。33 エリシャは中に入り、戸を閉じてその子と2人だけになり、エホバに祈り始めた。34 エリシャはベッドに上がって子供の上に伏し、自分の口をその子の口に、目をその子の目に、手のひらをその子の手のひらに当てて、覆いかぶさるようにしていると、その子の体は温かくなった。35 それからエリシャは家の中を歩いて行ったり来たりし、再びベッドに上がって子供に覆いかぶさった。すると、その子はくしゃみを7回し、その後目を開けた。36 エリシャはゲハジを呼び、「母親を呼びなさい」と言った。ゲハジが呼ぶと母親はやって来た。そこでエリシャは、「あなたの子を抱き上げなさい」と言った。37 彼女は入ってきてエリシャの足元に身をかがめ、ひれ伏し、それから息子を抱き上げて出ていった) イエスが町の門の近くに来ると、葬式の行列が出てくるところでした。あるやもめの一人息子が亡くなってしまったのです。母親は深く悲しんでいて、町の人たちも大勢付き添っています。とても痛ましい光景です。イエスは行列を止め、驚くような奇跡を行います。その息子を復活させたのです。福音書にはイエスが行った復活が3つ記録されていますが、これはそのうちの最初のものです。



イエスに倣い、家族を亡くした人に思いやりを示しましょう。 (14-16節を参照。)

14. [ルカ 7章](#)の記述のどんな点に注目できますか。 (挿絵も参照。)

14 [ルカ 7章](#)の記述を詳しく見てみましょう。「イエスはその母親を見ると、かわいそうに思[った]」とあります。 ([←13節](#)) イエスは、母親が息子の遺体の前を泣きながら歩いていく姿を見て、心が痛んだのでしょう。でもイエスは、かわいそうに思っただけではありません。思いやりを示し、優しい口調で「泣くことはありません」と言いました。そして、母親のために素晴らしい奇跡を行います。息子を復活させ、「母親に渡した」のです。 ([←14, 15節](#))

15. イエスの奇跡からどんなことを学べますか。

15 イエスのこの奇跡から、悲しい思いをしている人に思いやりを示すことを学べます。私たちは、亡くなった人を復活させることはできません。でも、イエスのように、悲しんでいる人に関心を払ってよく観察するなら、力になりたいという気持ちを強めることができます。慰めになる言葉を掛けたり、助けになることをしてあげたりできます。*どうすれば悲しんでいる人の力になれるかについては、「ものの塔」2010年11月1日号の「家族を亡くした人を慰める—イエスのように」の記事を参照。

(格 17:17 真の友はどんな時にも愛を示す。苦難の時に頼れる兄弟である。コリ二 1:3, 4) 私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は、温かな憐れみの父、あらゆる慰めの神であり、4私たちがどんな試練(*苦難)に遭うとしても慰めて(*励まして)くださいます。それで私たちは、神からの慰めにより、どんな試練(*苦難)に遭う人をも慰めることができます。ペテー 3:8 最後に、皆が、一致した考え(*同じ考え方)、仲間をいたわる気持ち、兄弟愛、温かい思いやりを持ち、謙遜であってください) 特別なことをする必要はありません。ちょっとした親切でも思いやりが伝わります。

16. 娘を亡くした姉妹の経験からどんなことを学べますか。(写真も参照。)

16 1つの実例を考えてみましょう。ある姉妹は集会で復活についての歌を歌っている時に、通路の反対側にいる姉妹が泣いていることに気付きました。その姉妹は、最近幼い娘を亡くしたばかりでした。姉妹はすぐに泣いている姉妹の隣に行き、肩を抱いて歌の残りと一緒に歌ってあげました。娘を亡くした姉妹はこう言っています。「温かい仲間に囲まれて、本当に幸せだと思いました。……必要な助けは王国会館でもらえる、ということを実感しました」。姉妹は、あの時集会に行って良かったと感じています。エホバは、私たちが「打ちのめされた人」を思いやってちょっとした親切を示す時にも、それに気付いて喜んでくださいます。(詩 34:18 エホバは心が傷ついた人のそばにいる。打ちのめされた(*落胆した)人を救ってくださる)

もっと調べてみましょう

17. この記事ではどんなことを学びましたか。

17 福音書に書かれているイエスの奇跡について学ぶと、信仰が強まります。エホバとイエスが私たちを深く愛してくださっていることや、イエスに全ての問題を解決する力があること、イエスが神の王国の王としてもうすぐ素晴らしいことを行ってくださることが分かります。細かい点にも注目して調べるなら、イエスにどのように働くことができるかを学べるでしょう。イエスのほかの奇跡についても、個人研究や家族の崇拜で調べてみるのはどうですか。学んだことをほかの人々に話すなら、きっと楽しい会話ができるでしょう。(ロマ 1:11, 12 皆さんに会うことを心から願っています。神からの贈り物を与えて(*神からの能力を用いて)、皆さんを力づけるためです。12 いえ、むしろ、皆さんの信仰と私の信仰によって励まし合うためです。)

18. 次の記事ではどんなことを学びますか。

18 イエスは宣教期間の終わりごろに、福音書に記録されている3つ目の復活を行いました。この復活は、ほかの2つとは違っていました。死んで4日たっていた親友を復活させたのです。では、この復活の記録からどんなことを学べるでしょうか。将来の復活が必ず起きると確信できるのはどうしてでしょうか。次の記事で考えましょう。

1. イエスの奇跡からどんなことを学べますか。

- ・S04 イエスに奇跡を行う力を与えたのはエホバなので、イエスだけでなくエホバについても知ることができ、信仰が強まる。イエスの奇跡から、エホバの考え方や気持ちも知ることができる
- ・S05 ①イエスとエホバは私たちを深く愛している：イエスは地上にいた時、苦しんでいる人たちを奇跡によって助け、心からの愛を示した。盲人の目が見えるようにしてあげ、食べ物を与え、重い皮膚病の人を癒やした。
- ・S06 ②エホバは人類の問題全てを解決する力をイエスに与えている：イエスには私たちがどうにもできない問題を解決する力、例えば、私たちがぶつかる問題の根本原因である罪も、病気や死もなくす力がある。イエスは奇跡によって「あらゆる」病気を治し、亡くなった人を復活させ、暴風を静めたり邪悪な天使を追い出したりした。
- ・S07 ③イエスが将来神の王国の王として素晴らしいことを行うと確信できる：将来王国の王として地球規模で例えば、あらゆる病気や障害をなくし、私たちは完全に健康になるようにしてくれる。飢えに苦しむことも自然災害に遭うこともなくなり、記念の墓から出てくる家族や友達と再会する喜びも味わえる。

2. ヨハネ 2章 6-10 節に記録されている奇跡から、謙遜についてどんなことを学べますか。

- ・S9-11 390リットルもの水を最高級のぶどう酒に変えるという奇跡を行った時に、自分でかめいっぱいに水を注いで人々の注目を集めようとしたり、水をぶどう酒に変えた後も、それを自分で宴会の幹事の所に持って行って、人から賞賛を受けようとしたりはされなかった。私たちも、エホバの助けがなければ、何一つ成し遂げることができず、いつもエホバが称賛されるようにしたい。

3. ルカ 7章 11-15 節に記録されている奇跡から、思いやりについてどんなことを学べますか。

- ・S14 イエスは、母親が息子の遺体の前を泣きながら歩いていく姿を見て、心が痛んだのでしょうか。かわいそうに思っただけではなく、思いやりを示し、優しい口調で「泣くことはありません」と言って、母親のために息子を復活させ、母親に渡した。
- ・S15-16 イエスのように、悲しんでいる人に関心を払ってよく観察するなら、力になりたいという気持ちを強めることができる。慰めになる言葉を掛けたり、助けになることをしてあげたりできる。ちょっとした親切でも思いやりが伝わる。エホバは、私たちが「打ちのめされた人」を思いやってちょっとした親切を示す時にも、それに気付いて喜んでくださる。

20番の歌 あなたは貴重な子を与えてくださった

▲イエスは大嵐を静め、病気を治し、死者を復活させました。イエスの奇跡について読むとわくわくします。でも、こうした記録が聖書に残されているのは、私たちがただ読んで楽しむためではなく、大切なことを学ぶためです。イエスの奇跡について調べると、エホバとイエスについてもっとたくさんのが分かり、信仰が強まります。どんな性質を身に付けたらよいかも学べます。

▲ある聖書学者はこう説明します。「東洋では、客をもてなすことは神聖な務めだった。食事や飲み物をちょうど必要な分だけ用意するのでは不十分だった。特に結婚の披露宴では、あふれるほど多くの物で手厚くもてなす必要があった」。

▲福音書にはイエスの奇跡が30以上記録されています。それ以外にも、幾つもの奇跡が1つの出来事としてまとめられている箇所もあります。例えば、「町中の人がやって来た時に、「イエスはさまざまな病気の人を大勢治しました。 (マル 1:32-34)